

# 男女共に助け合う介護

## これからは誰もが介護を担う時代に

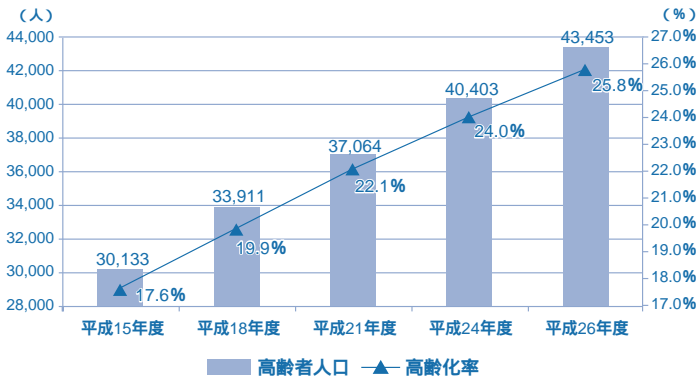
近年、核家族化など様々な理由から男性が介護にかかわるケースが増えてきています。女性が介護の役割を担うことがこれまで多かったですが、これからは家庭での固定的な役割分担意識を見直し、男女が共に家族として責任を担うことが必要です。

### 高齢化の状況

帯広市の高齢者人口は、介護保険制度がスタートした平成12年の年度末人口26,875人（高齢化率※15.5%）から、平成26年の年度末には高齢化率が25%を超えて高齢者人口が43,453人まで増加しており、約4人に一人が高齢者という社会になっています。

※65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合

帯広市の高齢者人口と高齢化率



### 要介護の現状

高齢化の進行に伴って、要介護（要認定）認定者数が年々増加している現状が見て取れます。

帯広市の要介護認定者数

(単位：人)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
要介護認定者数	7,703	8,101	8,492
要支援1	1,122	1,184	1,288
要支援2	1,156	1,235	1,373
要介護1	1,822	1,923	2,083
要介護2	1,236	1,309	1,313
要介護3	791	848	885
要介護4	783	808	832
要介護5	793	794	778

※実績値は、年度の平均値である。

### 介護の担い手

介護の担い手の状況は、厚生労働省の「国民生活基礎調査」によると、同居の主な介護者のうち約7割が女性となっています。

しかし、男性の介護者も平成19年の28.1%から平成25年の31.3%と着実に増加してきています。

介護の負担は就業に影響が大きく、平成26年の非就業者のうち、過去3年間に看護・介護を理由として離職した者の人数は女性12万人、男性3万人となっており、核家族化などにより、介護と仕事の両立が難しい状況になっていると考えられます。

### 介護の現場から

#### 帯広市社会福祉協議会

介護訪問サービス事業などを行っている帯広市社会福祉協議会にお聞きしました。

#### 「介護の現状」

帯広市社会福祉協議会では現在約250名の要支援者・要介護者の介護サービスを行っています。男性介護（夫・息子等）の家庭は約4分の1で、介護休業を取得して介護されている家庭はほとんどなく、年金暮らしで老老介護が多い状況です。介護している方の女性と男性の割合は3対1程度です。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識が強い夫が、妻の介助が必要なきにも、妻が家庭のことを守り何でもできると思っている、ヘルパーを断ったりすることもあります。

#### 「介護にあたってのアドバイス」

在宅で男性が介護する場合、食事を食べさせる時になかなか食べてくれずあきらめる方が多かったり、母親が息子からの身体介護は嫌がったりということがあり、ヘルパーを利用して上手くいくケースが多いです。

また、デイサービスを利用することで、介護者がある時間を気分転換で自分のために使うことができ、介護される方も他の人とコミュニケーションがとれたりします。介護サービスを上手に利用することが一番です。